

広報

my hometown TOMIOKA 2014

とみおか

6

No.620

古里を守る

富岡町消防団

富岡工業団地に大規模太陽光発電 シャープ株式会社と富岡町が基本協定調印



太陽光発電設備の完成予想図



協定を交わした宮本町長とシャープ株式会社の
向井常務執行役員(右から2人目)

◇事業計画の概要

| 項目 | 内容 | |
|---------|---|------------|
| 施設名称 | (仮称)シャープ富岡太陽光発電所 | |
| 事業会社 | 合同会社クリスタルクリアソーラー (シャープ株式会社と芙蓉総合リース株式会社の 共同事業) | |
| 開発・運営 | シャープ株式会社 | |
| 事業用地 | 富岡町大字本岡字赤木(富岡工業団地) | |
| 設置面積 | 約31,000㎡ | |
| 事業期間 | 21年間 | 売電期間：20年 |
| | | 工事・撤去期間：1年 |
| 計画出力 | 約2.2MWdc(dc：直流電流) | |
| 年間想定発電量 | 約2,386 MWh / 年(一般家庭の約663世帯分) | |
| 建設工事着工 | 平成26年12月(予定) | |
| 事業運転開始 | 平成27年6月(予定) | |

シャープ株式会社と富岡町による「シャープ富岡太陽光発電事業」の基本協定調印式が4月17日、富岡町役場郡山事務所において行われました。

この事業は、町内赤木地区の工業団地にメガソーラーの太陽光発電設備を設置する取組みで、民間事業を活用した再生可能エネルギーの推進と、被災地での新しい産業モデルの創出を図るものです。

調印式で宮本町長は「再生可能エネルギーの導入を進めることは、原発事故から教訓を得た立地町において大きな意義と可能性を秘めています。この事業実施は本町の復旧・復興に向けての第一歩であり、新しい産業モデルの創造に貢献し、未来の富岡の元気を作り出す契機となることを祈念します」と挨拶。これを受けシャープ株式会社の向井和司常務執行役員が「太陽光発電事業の先駆者として、発電技術の普及や提供、地元への還元など、町の復興支援に

少しでも役に立てるよう努めていきます」と述べました。

事業の実施期間は平成27年6月(予定)の運転開始から20年間、発電された電気(年間約663世帯分に相当)を全量売電し、その収入の一部は町の復興支援のため富岡町に還元されます。

震災以前の豊かな自然と活気あふれる町の姿を取り戻すまでは長い時間と大きな努力を要しますが、今後も生活の再生と町の復興に向けた取組みを進めていきます。

荒廃家屋被害認定について政府より回答 ～原発被災特有の事象を考慮した運用緩和が実現～

自然災害にあった住宅に対し、災害被害認定基準に基づいた家屋調査により被害の判定を行う「り災証明」に関する指針の運用が緩和され、東日本大震災による雨漏りや動物侵入による汚濁等の被害も損壊として認定される決定がなされました。

富岡町では、東日本大震災で損壊した家屋が「り災証明により半壊以上と被害認定された場合は、災害廃棄物処理事業により環境省が解体を行う」ことを受け、平成26年2月より町民の皆様からの家屋解体申請受付を開始いたしました。その一方、被害認定に係る調査の実施について、当町は原子力災害に伴う避難指示が継続する状況であり、避難の長期化によって家屋の管理ができず荒廃が進行するなどの特殊性を考慮すべきと国に訴え、協議・調整を進めた結果、荒廃家屋被害認定の運用緩和について復興庁及び内閣府より正式な回答が得られました。

現在の建物被害調査の実施状況は下記のとおりですが、制度の緩和によりこれまでと被害認定の程度・状況が変わることも考えられ、また、それにより「被災者生活再建支援金」支給の対象になる場合もありますので、新規ならびに再調査の申請をお勧めいたします。

り災証明につきましては富岡町役場税務課、被災者生活再建支援金制度につきましては富岡町役場生活環境課までお問合わせください。

なお、運用緩和による主な改正点、り災証明の申請方法等、詳しくは広報とみおか5月お知らせ版をご覧ください。

富岡町における建物被害調査の実施状況

◇一次調査済み件数(棟) 調査期間：平成23年12月～平成24年3月

| 全壊 | 大規模半壊 | 半壊 | 一部損壊 | 損壊なし | 合計 |
|-----|-------|-----|-------|------|-------|
| 175 | 68 | 763 | 4,190 | 284 | 5,480 |

◇一次調査発行済件数(棟)

| 全壊 | 大規模半壊 | 半壊 | 一部損壊 | 損壊なし | 合計 |
|----|-------|-----|------|------|-------|
| 48 | 32 | 325 | 851 | 18 | 1,274 |

◇二次調査済み件数(棟)

調査期間：平成25年7月～平成26年3月

| 全壊 | 大規模半壊 | 半壊 | 一部損壊 | 損壊なし | 合計 |
|----|-------|-----|------|------|-----|
| 57 | 122 | 179 | 17 | 0 | 375 |

原発事故に伴う荒廃家屋の被害認定(解体)事務の実施に係る政府回答

- 避難指示に伴う家屋等の管理不能状態が長期間継続していることから、家屋の損壊等がいつの時点で生じたものであるかを特定することは極めて困難である。これは避難指示により立入りが厳しく制限されていたこと等、止むを得ない事情により生じたものであることから、原則として現に調査を実施した時点において確認された損壊等(現時点での被害)に、認定基準をそのまま当てはめて被害状況を決定するよう取り扱う。
- 現行の「災害に係る住家の被害認定基準運用指針」等においては、雨漏り及びそれに伴うカビ、躯体変化、鳥獣の糞尿による汚損等に関する事項は明記されていないが、現に多くの家屋がこれらの被害によりその基本的機能を喪失している(補修等により継続して居住するに不適な状態となっている)。このことから「浸水等による住宅被害の認定について」(平成16年10月28日 府政防第842号)等を参考に、これらの汚損等については各部位の損傷として取扱うこととする。

さくらの繋がり 災害時相互応援協定 締結式



協定書を手にする加盟自治体の皆さん

桜を生かしたまちづくりについて話し合う「第22回全国さくらサミット」が、4月17日から18日の2日間にわたり新潟県五泉市で開催されました。

17日に行われた事前会議では、桜を縁として繋がるサミット加盟自治体のうち13市町による「災害時における相互応援に関する協定」の締結式が行われました。

協定書には、災害時における食料や物資等の提供、医療職や技術職等の職員派遣など、応援業務を円滑に実施するための必要事項が定められており、宮本町長は協定が災害時に大きな役割を果たすことや、東日本大震災後から支援していただいている御礼も兼ねて、今回の締結式に臨みました。

有害狩猟鳥獣捕獲隊員 委嘱状交付式

平成26年度富岡町有害狩猟鳥獣捕獲隊員の委嘱状交付式が、4月11日に富岡町役場郡山事務所で行われ、宮本町長が隊長の阿部忠義さん(夜の森駅前南)に委嘱状を手渡しました。

捕獲隊員は阿部さんを含め14名。主に、家主のいない民家等に被害を及ぼすイノシシやイノブタなどの駆除や捕獲を行います。



委嘱状を受取る阿部忠義さん(左)

第一回富岡町都市計画審議会 開催



委嘱状を受取る審議会委員(左)

4月22日、富岡町都市計画審議会が富岡町役場郡山事務所で開催され、8名の委員に宮本町長から委嘱状が手渡されました。

会長には坂本壽昭さん(杉内)が選出され、今後、町の復興に伴う生活に必要な施設の設置や建物の配置変更などについて審議していくこととなります。

町民と行政をつなぐ行政区長会を開催



行政区長(敬称略)

| | | | |
|--------|-------|-------|-------|
| ◎杉内 | 坂本 壽昭 | 上 郡 | 渡辺 則夫 |
| 仲 町 | 三瓶 佳治 | 太 田 | 山田 秀行 |
| 高津戸 | 遠藤 清一 | 下郡山 | 吉田 松恵 |
| 下千里 | 鎌田 光利 | 毛 萱 | 佐藤 謙一 |
| 大 菅 | 青山 聖 | 仏 浜 | 早川 忠 |
| 夜の森駅前北 | 横須賀富夫 | ○ 駅 前 | 早川 雅通 |
| 夜の森駅前南 | 松崎 英教 | 西 原 | 高木 紀夫 |
| 新 町 | 石井 芳久 | 中 央 | 渡辺 鉄男 |
| 赤 木 | 大川 清 | 小 浜 | 松本 政喜 |
| 上本町 | 堀本 廣喜 | 深 谷 | 関根 憲一 |
| 王 塚 | 林 健一 | 小良ヶ浜 | 関根 乃 |
| ○本 町 | 猪狩 眞 | 栄 町 | 渡辺 信夫 |
| 岩井戸 | 渡辺 達生 | 新夜ノ森 | 今野 輝昭 |
| 清 水 | 猪狩 浩 | ◎会長 | ○副会長 |

富岡町行政区長会が4月24日、富岡町役場郡山事務所で行われ、27人の行政区長に委嘱状が手渡されました。会議の冒頭、宮本町長が「自らも避難を続けられ、区民との連絡調整や交流が困難な中、精力的に活動されていることに感謝申し上げます。町として、今後とも物心両面で行政区活動を支援します」と挨拶。出席した区長からは、除染や町内の文化財の取扱い、行政区へ

の助成金などについて質問や要望が出されました。引き続き、行政区長会の役員改選が行われ、会長に坂本壽昭さん(杉内)、副会長に猪狩眞さん(本町)と早川雅通さん(駅前)が選出されました。なお、各行政区長並びに副区長の任期は、平成26年4月1日から平成27年3月31日までです。



委嘱状の交付を受ける行政区長(右)

町内の農業再生をめざして

富岡町土地改良区総代に当選証書を付与

土地改良区総代(敬称略)

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 第1区 | 坂本 壽昭 | 第4区 | 関根 暢一 |
| | 遠藤 直 | | 深谷 昇 |
| | 遠藤 昌平 | | 渡邊 勝家 |
| | 田代 安明 | | 堀川 和之 |
| | 林 秀樹 | | 猪狩 豊 |
| 第2区 | 三瓶 一昭 | 第5区 | 久保田直文 |
| | 鈴木 昭男 | | 佐藤 勝夫 |
| | 遠藤 一廣 | | 原田八十治 |
| | 遠藤 則政 | | 堀川 一夫 |
| | 遠藤 良一 | | 高橋 重夫 |
| 第3区 | 遠藤 一 | 第5区 | 高橋 義則 |
| | 川口 有 | | 堀本 良一 |
| | 横田 浩高 | | 山田 文夫 |
| | 佐藤 重幸 | | 大川 剛 |
| | 関根 厚 | | 渡邊 伸 |

富岡町土地改良区総代30人に対する当選証書付与式が4月23日、富岡町役場郡山事務所において行われました。式では、渡邊康男選挙管理委員長が出席した総代一人ひとりに当選証書を手渡したあと、宮本町長が「町内の農業再生について明らかな道筋を示せないのは残念ですが、今後とも富岡町の農業にご理解とご協力を賜りたい」と挨拶しました。総代の任期は、平成26年5月15日から4年間となります。



渡邊選挙管理委員長から当選証書を受取る総代(右)

震災後2回目となる富岡町消防団の春季検閲が4月20日、広野町総合グラウンドで行われました。

検閲には各地の避難先から消防団員125人、婦人消防隊員12人が参加。統監である宮本町長が「富岡町消防団員による町内全域の防火・防犯パトロールや仮設住宅での予防消防活動など、皆さんの活躍する姿は、大きな不安を抱える町民の安心・安全に繋がります。今後、更なる予防消防活動の強化を図り、双葉地方広域消防と連携し、富岡町、そして富岡町民を守り抜いていきましょう」と訓示を述べました。

そのあと福島県消防協会双葉支部の連合検閲式も行われ、同支部長の安藤治富岡町消防団長が「消防団の存在は、住民が帰還に向けた判断を下す上での大きなウエイトを占めます。私たちは組織の活性化と関係機関の連携、そして消防体制の強化を図り、消防の使命遂行に万全を期する所存です」と式辞を述べ、参加した約700人の消防団員や関係者は、ふるさと双葉郡を守り、復興を支えていく決意を新たにしていました。



ふるさとを守る決意を新たに 富岡町消防団春季検閲・連合検閲式



「士気高揚」

富岡町消防団第6分団長 大和田 力さん(太田)

震災以降2回目の検閲ですが、前回は参加できなかった団員も来てくれました。しかし、避難の関係で参加できない団員がまだまだ多くいるのが残念です。現在、365日体制で仮設住宅や町内のパトロールを行っています。消防団員が活躍しているのはとても良いことだと思います。

現在、福島県消防操法大会に向け郡山市内で練習を行っていますので、選手を激励にぜひ顔を出していただければありがたいです。

「町のために活動を継続」

富岡町婦人消防隊長 高橋美智子さん(王塚)

震災のあと、活動の継続を迷っていた時に、町から「今後、必ず婦人消防隊が必要になるから続けてほしい」と言われ、とても励みになりました。広域消防署と一緒に仮設住宅の見回りに行った時には、町民の方から「消防隊のハッピィを見て嬉しい」と言っていたきました。

誰一人欠けることなく、震災前の生活に戻れることが一番ですが、それぞれ違った道を選んだとしても絆や繋がりをもち続け、これからも隊員みんなで頑張っていきたいと思っています。



児童手当現況届の提出について

児童手当を受給されている方は、養育状況を確認するため年に一度「児童手当現況届」を提出することになっております。現況届は6月中旬に郵送しますので、期限内にご提出ください。

▼提出期限

平成26年6月30日(月)

※期限厳守

▼添付書類

- ・【受給者共通】
- ・国民健康保険以外の方
- ・児童手当受給者(児童の養育者)の保険証の写し
- ・振込金融機関を変更される方
- ・銀行口座の写し

灯油の処分について

田中合名会社(ガソリンスタンド)のご厚意により、富岡町内のご自宅に残っている灯油を持込みしていただくご無償で処分することができます。※使用済みのポリタンクは、中身が空であることを確認の上、可燃ごみとしてごみステーションに出してください。

田中合名会社

富岡町小浜字中央302
 ☎0240-221-2351
 【営業日】月曜日～土曜日・祝日
 【営業時間】7時～17時
 【定休日】日曜日・ゴールデンウィーク、お盆、年末年始

ご自身での持込みが困難な場合は、東京電力による屋内片付けの際に合わせて、灯油の運搬も行っています。すでに東京電力による屋内片付けがお済みの方も、灯油運搬のみの対応が可能となっておりますので、左記までお申込みください。

東京電力(株)

福島復興本社 復興推進室
 屋内片付けお申込み専用ダイヤル
 ☎080-5980-11084
 (土日・祝日を除く9時～17時)

※変更される金融機関は、児童手当受給者(児童の養育者)名義のものに限る。

【単身赴任等で児童を別居監護する方】

- ・監護・生計同一に関する申立書(様式は追送いたしますのでご連絡ください)
- ・別居先の児童が属する世帯全員分の住民票

【婚姻により転入された方】

- ・受給者の児童手当所得証明書(平成26年1月1日に住所のあった市区町村から取得してください)

健康福祉課 福祉係

ダイヤモンド婚・プラチナ婚表彰

富岡町では、結婚60年(ダイヤモンド婚)並びに結婚75年(プラチナ婚)を記念し、ご夫婦を表彰いたします。

該当される方には、申請書をお送りしますので健康福祉課介護保険係までご連絡ください。また、申請書は支所・各出張所にも備え付けてあります。

結婚50年・幸せ金婚夫婦表彰

福島県老人クラブ連合会では、多年にわたり社会に貢献され、今日の社会の基礎はもとより、家族の幸せを築いてこられた結婚50年を迎えるご夫婦に「幸せ金婚夫婦」として表彰状と記念品をお送りします。6月中には、75歳以上の方全員に申請書を送付しますので、該当される方は届出をお願いいたします(郵送での届出も可能です)。

▼届出ができる方

- ①昭和39年に結婚し、結婚後50年を迎えるご夫婦
 - ②昭和38年以前に結婚され、まだ慶祝を受けていないご夫婦
- 平成26年7月14日(月)

▼受付期限

富岡町社会福祉協議会

郡山市富田町字若宮前32
 (高齢者等サポート拠点施設内)

富岡町社会福祉協議会

☎024-9335-3345
 ☎024-9335-3346
 Fax 024-9335-3346

▼届出ができる方

- ①富岡町に住所を有し、結婚後60年(昭和29年に結婚)、同じく75年(昭和14年に結婚)を迎えるご夫婦。
- ②昭和28年(ダイヤモンド婚)、昭和13年(プラチナ婚)以前に結婚され、まだ慶祝を受けていないご夫婦。

▼提出期限

平成26年7月31日(木)

▼受付窓口

富岡町役場郡山事務所、いわき支所、三春出張所、大玉出張所

▼表彰伝達

9月中旬以降、郵送にて表彰状と記念品をお届けします。

▼注意事項

- ・申請者の印鑑が必要です。
- ・届出は代理人でも結構です。
- ・郵送により届け出る場合は、富岡町役場郡山事務所健康福祉課介護保険係宛に送付してください。

健康福祉課 介護保険係

富岡町職員採用候補者試験のお知らせ

町では、平成27年度の職員採用候補者(高校卒業程度・社会人基礎試験・資格免許職)の試験を次のとおり行います。受験を希望される方は、申込期日期限内に富岡町役場総務課へお申込みください。

- 1 試験区分・採用予定人員及び受験資格
 - (1) 高校卒業程度

| 試験区分 | 採用予定人員 | 受験資格 |
|------------|--------|--------------------------------------|
| 一般事務 土木 | 若干名 | 平成5年4月2日から平成9年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません) |

(2) 社会人基礎試験

| 試験区分 | 採用予定人員 | 受験資格 |
|------|--------|--|
| 行政 | 若干名 | 昭和54年4月2日から昭和60年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません) |

(3) 資格免許職

| 試験区分 | 採用予定人員 | 受験資格 |
|-------|--------|--|
| 社会福祉士 | 若干名 | 昭和50年4月2日から平成5年4月1日までに生まれた者(学歴は問いません) 社会福祉士の資格・免許を有する者又は平成27年4月までに取得見込みの者 |

2 試験の方法

| 試験区分 | | 試験の方法 | |
|---------|------------|-------|-------|
| 資格免許職 | 社会福祉士 | 第一次試験 | 第二次試験 |
| 社会人基礎試験 | 行政 | 第一次試験 | 第二次試験 |
| 高校卒業程度 | 一般事務 土木 | 第一次試験 | 第二次試験 |
| 卒業程度 | 一般事務 | 第一次試験 | 第二次試験 |
| 資格免許職 | 社会福祉士 | 第一次試験 | 第二次試験 |

3 試験期日及び試験場

- ・高校卒業程度
 - (1) 第一次試験 平成26年9月21日(日) 杉妻会館
 - (2) 第二次試験 平成26年10月下旬頃 富岡町役場郡山事務所 (郡山市大槻町字西ノ宮48-5)
- ・社会人基礎試験
 - (1) 第一次試験 平成26年9月21日(日) 試験場 富くしま中町会館
 - (2) 第二次試験 平成26年10月下旬頃 富岡町役場郡山事務所 (郡山市大槻町字西ノ宮48-5)
- ・資格免許職(社会福祉士)
 - (1) 第一次試験 平成26年9月21日(日) 試験場 富くしま中町会館
 - (2) 第二次試験 平成26年10月下旬頃 富岡町役場郡山事務所 (郡山市大槻町字西ノ宮48-5)

4 申込受付期間

7月16日(水)から8月15日(金)まで(ただし、土曜日及び日曜日・祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで)

5 申込手続

受験案内・受験申込書は、役場総務課で交付いたします。郵便により受験申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「〇〇試験申込」と朱書きし、430円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封して送付してください。※申込書は、町ホームページ【各種手続き・申請・お知らせについて】の職員採用試験からダウンロードできます。

富岡町役場 総務課

富岡町ごみ出しカレンダー

| 平成26年6月 | | | | | | | 平成26年7月 | | | | | | |
|----------------------|----|----|----|----|----|----|----------------------|----|----|----|----|----|----|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | |
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 |
| 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | |
| 29 | 30 | | | | | | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | | |
| 燃えるごみ、ごみ出し日 | | | | | | | 燃えないごみ、ビン類・カン類 ごみ出し日 | | | | | | |

ごみは分別したうえで、上記の回収日にお出しください。回収業者は、数日かけて町内のごみステーションを巡回し、順次、ごみの回収を行います。粗大ごみやリサイクル対象家電、危険物等は、ごみステーションでの回収はいたしません。分別方法やごみの出し方については、3月20日発行の広報お知らせ版に同封の「平成26年4月からのご家庭の片付けごみの回収について(お知らせ)」又は町ホームページをご参照ください。

生活環境課 環境衛生係

平成26年度 国家公務員「税務職員採用試験」のお知らせ

仙台国税局では、国の財政を支える税務職員を募集しています。

▼受験資格

①平成26年4月1日現在、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び、平成27年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

②人事院が①に掲げる者と同等の資格があると認める者

▼受験申込受付期間

インターネット申込
平成26年6月23日(月)から平成26年7月2日(水)まで
郵送又は持参申込
平成26年6月23日(月)から

▼受験申込方法

平成26年6月26日(木)まで受験申込は原則インターネット申込。郵送又は持参用受験申込書の請求は、最寄りの税務署、仙台国税局人事第二課又は人事院東北事務局へ。

▼第一次試験日

平成26年9月7日(日)

仙台国税局人事第二課

〒022-263-1111
〒022-221-2022

事業主の皆さんへ

労働保険の年度更新等のお知らせ

平成26年度の労働保険の年度更新の申告期限は7月10日です。期限までに最寄りの銀行郵便局、労働基準監督署、福島

労働局において手続きをされますようお願いいたします。

※労働保険の年度更新は電子申請を、労働保険料等の納付は口座振替をご利用ください。

福島労働局総務部労働保険徴収室

〒024-536-4607

オープンキャンパスのお知らせ

船舶運航技術を学ぶ国立宮古海上技術短期大学では、オープンキャンパスを開催いたします。詳しくは左記までお問い合わせください。

▼日時

見学型…平成26年6月14日
体験型…平成26年7月5日
9月6日

国立宮古海上技術短期大学校
〒0193-621-5316

平成26年度総合健診の実施に伴う意向調査について

平成26年度富岡町総合検診(秋ごろの予定)

- ・県内避難の方…富岡町から集団検診(県内数カ所で実施予定)の通知を送付
- ・県外避難の方…(一財)日本予防医学協会から病院で行う検診の通知を送付

※詳細が決まり次第、広報とみおかやホームページに掲載します。

【意向調査】

県内避難の方には、検診日程や会場調整のため事前に意向調査を実施し、検診を希望された方に検診の通知をお送りします。意向調査票は、富岡町に届出されている避難先住所を基に県内避難されている40歳以上の国保加入者、後期高齢者医療保険加入者及び19歳以上40歳未満の方を対象に5月末に郵送しました。同封のがきでご回答ください(年齢は平成27年3月31日現在)。

※上記の条件に該当し、検診を希望する方でお手元に総合検診意向調査票が届いていない場合は下記までご連絡ください。

※避難先住所を福島県外に登録されている方で、県内の集団検診を希望する場合はお早めに下記までご連絡ください。

国保・後期高齢の特定健診等については住民課国保年金係
がん検診・40歳未満の検診については健康福祉課健康づくり係



私たちのお医者さん

こんにちは。大玉仮設診療所です！

第15回 「晴れ間の散策は」
堀川 章仁 医師(夜ノ森中央医院)

富 岡町も昨年から帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域に大きく3分割され、避難住民の心境に大きな差が出てきた様に思われます。事に最近「ここだけの話だが」と枕詞を断りに付けた話も多く聞きます。いわき市や郡山市に住居を求めた話や、復興公営住宅の選択に関しても、住み慣れた気候の浜通りにするか、冬は寒いが新幹線等の交通の便が良い中通り地域の復興公営住宅を選んだら良いのか迷っている話等々、将来の生活基盤を考えた大事な話さえも、この枕詞が必ず付いてきます。避難民の心に隔たりが芽生え、成長してきていることが伺い知れます。

心 が塞がれた状態の中、早いもので日は毎日進み、6月を迎えました。一般に6月から夏が始まるときに上旬までに梅雨(つゆ)入りします。あのじめじめとうんざりした梅雨のことが真っ先に頭に浮かびます。6月は旧暦で「みなづき」と言われており、漢字で書くと「水無月」と書きます。読んで字の如く水の季節です。水道の普及した昨今、井戸水の濁水は無縁なものです。私の小学校時代、この季節には井戸が涸れ、井戸の掘り直しが必要となり、朝早くから井戸掘り職人達がやってきて何となくわくわくする気分になったことを思い出します。

ジュ ーン・ブライドは「6月に結婚する花嫁は最も幸せになる」とのヨーロッパでの諺です。北海道のように梅雨のないヨーロッパでは、燦爛と降り注ぐ太陽の光、カラッとした空気の中で結婚式に心を弾ませ、光輝く花嫁の姿が想像できます。この言葉の起源は実は暗いものです。昔のヨーロッパでは戦争が続き、毎年毎年、貴族の男性達は気候の温暖な期間中戦争に出掛け、戦争が出でなくなる寒い時期しか自宅に戻れません。その寒い間は晩餐会に明け暮れたそうです。6月になると戦争が始まります。適齢期の若者は戦地に赴く直前の最高に気候の良い6月に結婚式を盛大に行いました。戦争により夫を失い、悲劇の舞台に立たされる女性も少なくはなく、花嫁の不安を払拭するためジューン・ブライドの言葉が生まれたと言われています。「水無月」も「五月晴れ」も「ジューン・ブライド」も裏の意味があり、面白くないと思いませんか。

梅 雨はうつとうしく、気分も優れず、家に留まりがちになります。以前にこの欄でも紹介しましたが、生活不活発病大王様、ロコモティブシンドローム大王様、廃用症候群大王様が壁の隙間から友達になりたくてその機会を伺っています。オレオレ詐欺ばかりではありません。隙を見せたらもう友達です。大王様達に背を向け、気の合った友達を誘っての晴れ間の散歩をして下さい。散歩は意外な発見があります。現在、私は二本松に住んでいます。先日、朝の散歩に出掛けると耳の長い黒っぽい動物がこちらを伺いながら、ピョンピョンコトコトやってきました。よく見るとウサギでした。飼われたウサギかな、野ウサギかな。ウサギばかりではなく、その付近では30センチ以上もあるリスを時々見かけます。キジも見かけます。驚も声掛けしてあげます。自然に生息している動物達との出会いは、その日の幸運の予感のような気がします。晴れ間に外に出て散策し、幸運、健康を掴み取りましょう。

TOMIOKA 桜通信

第26号

東日本大震災と原発事故により、私たちはふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA (とみおか) 桜通信」は、避難生活を続ける皆さんや、富岡町にゆかりのある方々のもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。



元気に前向きな人生を！

小良ヶ浜行政区域長。東日本大震災発生当時は、家族で四国に旅行中だった。現在、いわき市内で事業を再開した町内企業に勤務しながら、家族と広野町で生活している。

会計から区長に
平成25年3月、当行政区では、原発事故による避難後初めて総会を開催しました。当時、私は会計でしたが、区長・副区長共に関東地方に避難しており、区民の皆さんから声をかけ

られ、区長となりました。当行政区では、約90世帯の皆さんが生活していましたがお年寄りが多く、総会の中では故郷を懐かしむ声が多く聞かれました。

「南国土佐」で震災を知る

平成23年3月11日、その数日前から、母、姉そして愛犬と共に旅行のため四国に滞在していました。大地震が発生したのは、高知県内の太平洋沿岸を車で走っていた時でした。室戸岬に向かう道中、新潟県内に住む親戚から「地震と津波は大丈夫か？」と携帯電話に連絡が入りました。初めのうちは何を言っているのかわからない状態でしたが、テレビを見てみると、仙台市内東部の沿岸近くの地域が津波に襲われる様子をへリコプターが中継で映し出していました。大変なことになったと旅程を切り上げ、本州に渡ろうとしましたが、遠く離れた四国にも津波が襲来し、本州と結ぶフェリーが全て欠航となり、本州・四国間の大橋は車が集中して大渋滞となりました。

明石海峡大橋を経由して本州に渡り、北陸道経由で福島を目指しまし

たが、途中のサービスエリアには、西日本各地から救援に向かう車両が集結していました。

避難先を目指す

その後、新潟県内の親戚を経て、故郷ではなく、富岡町民の皆さんがいる避難先を目指しました。ビッグパレットふくしまなどの避難所はいずれも満員状態でしたが、私たちはキャンピングカーでの移動だったため寝起きは何とかなりました。しかし春先の寒さは厳しく、高齢の母は千葉県内に住む姉一家に預かってもらいました。

震災から2カ月経った5月初旬、知人の世話で広野町内に住宅を借り、その11月には母も戻り、避難前のように家族3人での生活が始まりました。

私は長年サーフィンを通して海に親しんできました。千年に一度の災害とはいえ、大津波はその海に打ちのめされた気持ちになりました。避難後は波乗りどころではありませんでしたが、しばらくしてサーフィンを再開しました。体は波に乗れても、気持ちは乗れないことも多いですが、自分たちを育ててくれた海を通して、震災前の豊かな故郷を思い出しています。

高木 實さん(中央)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



地域の誇り 96歳元気な高齢者

被災の半年前、介護が必要な状態になった妻は、榎葉町内の老人介護施設に入所。それ以降、町内に1人で生活していた。

私の逃避行

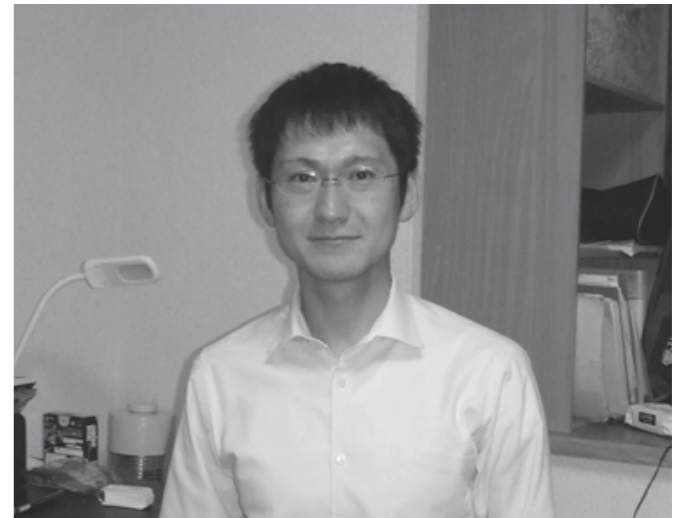
私の手元に残る1枚のレシートに打刻された日時は、平成23年3月11日午後2時44分。妻が入所していた榎葉町内にある老人保健施設「ときわ苑」を面会で訪れた際、利用した自販機から発行されたものです。その直後大きな揺れに襲われ、机の下に入り揺れが治まるのを待ちましたが、幸い妻とも

これからが移動
同村に移って2泊目、私は高熱が出たため田村市内の病院に搬送され、診察や点滴などの処置を受けました。その後、自衛隊の車両でビッグパレットふくしまに移り、こちらもすでに満員状態だったものの、同じ行政区の方のスペースに入れてもらうことができました。
ビッグパレットに到着した後、埼玉県杉戸町への避難バスが出ること

見知らぬ土地ですが、かかりつけの病院や歯科医院、理髪店などで、多少の近所付き合いがあります。また、長年親しんでいる「能」の舞台を観に、東京都内にも足を運んでいます。一時帰宅は2回ほど参加しました。避難後、けがなどを負ったこともありすが、今は穏やかに暮らしていますので、皆さん、ご安心ください。

渡辺 隆弘さん(元・小良ヶ浜)

TOMIOKA 桜(さくら)通信



故郷・富岡町に感謝です！

町内小良ヶ浜出身。中学生時代から福島駅伝富岡町チームに参加し、中学3年の時には全国中学校駅伝大会にも出場した。平成22年に大熊町へ転居。避難後は大熊町役場職員となり、家族と共に会津若松市で生活している。

夢を教えてください故郷

私は、子どもの頃から足が速いほうで、走ることが得意でした。同じ行政区内に走るのが速いお兄さんがおり、その方の走る姿にあこがれの

ような気持ちを抱くようになりました。小学校4年生の時、教師からマラソンを教えられて、単に「駆けっこが速い」から「長距離走」を意識するようになりました。その頃から、そのお兄さんやいとこたちが陸上競技に取り組む姿を見たり、練習について行き一緒に走ったりしていました。中学生になり、私は、本格的に駅伝に取り組むようになりました。当時の指導者から「全国大会に連れていってやる」と言われ、その目標に向かって進むようになりまし。厳しくも充実した日々を送り、中学3年生の時、ついに、全国中学校駅伝大会に出場することができました。
また、中学1年生の時から、富岡町チームの一員としてふくしま駅伝にも参加するようになりました。中学校を卒業後、高校、短大への進学や就職により町を離れている間も、富岡町のメンバーとして参加し続けました。

就職そして転出

短大を卒業後、福島市内の保育園に保育士として就職しました。その後、福島県福祉事業協会に移り東洋育成園で働き、平成23年に大熊町に

転出しました。ふくしま駅伝大会の規則では、転出後も「出身者」であれば転出前のチームからの出場を認められています。ひとつの区切りとして、駅伝も「大熊町チームへの転出」をすることにしました。気持ちの中では、複雑な部分もありましたが、富岡町の皆さんは「大熊でもがんばれ」と温かいエールとともに、送り出してくれました。
被災に負けず「親子出場」
震災発生当時、私は東洋育成園に勤務しており、被災翌日、入所者とともに町を離れ、その後、県内外を転々となりました。先が見えない日々の中、生活への不安はありましたが、幸い保育士の資格があったため、避難先でも職に就くことができました。昨年からは、大熊町職員として役場に勤務し、健康介護課に所属しています。
昨年、中学1年の長男と一緒にふくしま駅伝に出場しました。私の初出場と同じ歳での駅伝デビューに、大きな喜びと将来への希望のようなものを感じました。これからも周囲の皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに走り続けたいと思います。

になり、娘たちが関東地方にいたため乗車し、同町に到着後、迎えに来ていた娘たちと合流しました。
都会に入る
杉戸町を出て、東京都内の次女宅で3日ほど過ごしました。その時、妻が入所していた施設から、いわき市内の避難所にいるとの連絡があり、妻を引き取り、現在、私は横浜市内の三女宅に、妻は、その近くにある施設に、それぞれお世話になっています。
都会の生活は、空気がよどんで、息苦しいところがあります。まず、マンション暮らしを始めて感じたことは、認知症になったら大変だということ。数字が多すぎると、数字が多く、それらを忘れてしまうと、自宅にも入れず、郵便受けから手紙も新聞も受け取れなくなりまし。

坂本 里美さん(西原)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



皆さんから「教えられる」毎日です

人生のベテランと共に
教室が始まる約30分前あたりから、参加者の皆さんが会場に集まり始めます。私がこの仕事に携わるようになった頃、皆さんの名前と顔を一致させるのが大変でしたが、今では、入口の向こうに姿が見え始めると、その体のシ

現在、NPO法人富岡町さくらスポーツクラブの職員として、主に体操・運動教室のインストラクター業務に携わっている。子どもの頃から、ソフトテニスが続けている。

私は小学校2年生の時に、町のスポーツ少年団でソフトテニスを始めました。小学6年生で県大会優勝、中学生では県選抜の選手にも選ばれました。同じくソフトテニスをしてきた姉の試合を観に行ったとき、県立田村高校の選手が試合に臨む姿を見て、当時中学生だった私は同校を志望して進学。高体連県大会優勝、インターハイ東北地区3位の成績を残すことができました。高校卒業後は、ソフトテニスの強豪が集う東京女子体育大学に進みましたが全国各地から各種大会で名をはせた選手が揃っている中、今までと違い、私のレベルは「凡人」。全国の壁は想像以上に厚く厳しいものでした。

私が東日本大震災に遭遇したのは大学2年生の時。東京都立川市内にある大学の体育館で練習していた時でした。大きく長い揺れが続いた後、テレビを通して故郷が大きく被災したことを知りました。町は、家族はと不安な気持ちでしたが、どうすることもできません。そんな中、同じソフトテニスの仲間たちが大きな心の支えになってくれました。震災発生の日後、東京都内の親類宅で家族と再会しました。

神足 裕子さん(大菅)
TOMIOKA 桜(さくら)通信



避難先での生活をより充実させるために

福島県立医大病院で受診中に大地震に遭遇。帰宅できません。いまま、避難生活に入る。現在、県南地区の避難者自治会立ち上げに向けて活動中。

海が近い故郷
私は宮崎県で生まれ、建設会社に勤めていた父が、原発建設に携わることになり中学生の時、家族で大熊町に移り住みました。それまで、父は主にダムの建設に携わっていたため、山奥での生活ばかりでしたが、この土地では、初めての海がある生活となりま

津島を出て携帯電話が通じるようになり、父が姉夫婦と共に川内村に避難した直後、転倒して脳挫傷となり、ヘリコプターで会津中央病院に搬送され入院したとの連絡が入りました。しかし、ガソリンが不足し、西郷村にたどり着く次女の元へ向かいました。

会を発足できても、初めての経験に戸惑いの連続かもしれないませんが、不自由な避難生活の苦痛を乗り越えるべく、活動していきたいと思えます。

大病を克服して
私は、東日本大震災が起きる数カ月前に乳がんが見つかり、平成23年2月、福島県立医大病院で手術を受けました。3月4日に退院し、震災発生当日は長女が付き添い、同病院で経過観察のために診察を受けていました。同居していた父とは連絡が取れず家路を急ぎましたが、道路状況が悪く、その日は浪江町にある長女の嫁ぎ先から南には進むことができませんでした。翌日、夜明けとともに富岡町を目指そうとしましたが、避難指示により、長女の家族とともに浪江町津島の避難所へ向かいました。避難所では寒さと固い床、そして手術後の傷も完全に治っていない状態で耐えることができず、勤務の関係で西郷村に住んでいた次女の元へ向かいました。

ただで精一杯の状態だったため、会津に向かうことができませんでした。その後、しばらく次女のアパートに身を寄せながら父の面会に通っていましたが、その年の9月、矢吹町内に父が入所できる施設が見つかりました。翌月には現在生活している借上げ住宅に移ることができ、これで少しは落ち着くかなと思つて間もなく、その年末に父は亡くなりました。

コミュニケーションの立ち上げに向けて
避難生活を始めてから3年以上が経過しました。私が生活している県南地域には、富岡町からの避難者が数百人いるにもかかわらず、避難者コミュニティがありません。そこで、有志数名が集い話し合いながら、コミュニケーションの立ち上げに向けた模索を始めました。個人情報保護の壁など、動きづらいつても多々ありますが、皆さんのご支援のもと「しらかわ地域富岡さくら会」として、6月21日に発足を

今、故郷のためにできること
震災の翌年、私は大学4年生になり、進路を選択する時期を迎えました。故郷での体育教師を志望していましたが、震災後の混乱もあり難しい状況でした。そんな中、さくらスポーツクラブの職員募集を知り「故郷のために少しでも役立てれば」という気持ちで応募し、平成25年4月、職員として採用されました。

震災復興を祈って 三春 春まつり



躍動感あふれる演奏を見せた小浜風童太鼓



田村隆顕公に扮した宮本町長(中央)と富岡町民の皆さん

5月5日、三春町で「三春 春まつり」が開催され、壮大な時代絵巻が繰り広げられました。

「時代行列」「演武」「郷土芸能競演会」で構成されたこのまつりは震災からの復興を願い、また、富岡町と葛尾村から避難している町村民を励ますために企画され、今回で3回目を迎えました。

時代行列には、戦国時代の衣装を身に付けた富岡町民や田村隆顕公に扮した宮本町長が参加し、歴史ある三春の街を練り歩きました。

郷土芸能競演会では、葛尾村が日出神社三匹獅子、三春町が高木神社三匹獅子などを披露。富岡町からは小浜風童太鼓の皆さんが出演し、力強い演奏で会場に集まった観衆を沸かせました。

心の復興を築くために「さくらの会」総会を開催

いわき地区広域自治会「さくらの会」の総会が4月28日、いわき市文化センターで開催されました。

総会には会員約90名が出席。町との意見交換会や健康ウォーキングなど、平成26年度の事業計画等が提案されました。また、役員改選も行われ、新会長に猪狩レイ子さん(下千里)、副会長に渡邊長一さん(清水)と根本照衛さん(清水)が選出されました。

総会終了後に行われた研修会では「富岡町の除染の現状と今後の日程」「家屋解体の取り扱い」について、出席した宮本町長を始め町の担当者より説明を受け、会員相互の情報共有を図りました。



研修会に参加した町民の皆さん

根本想さん、大地君(小浜) 全日本ソフトテニス選手権大会に出場

磐城桜ヶ丘高校2年の根本想(こころ)さんと西郷第一中学校3年の大地君姉弟が、5月17日から19日まで愛知県一宮市で行われた第21回全日本シングルソフトテニス選手権大会に出場しました。

想さんと大地君は震災後も多くの大会で好成績を残しており、今大会でも全国の強豪選手を相手に堂々の戦いを見せました。2人は富岡町スポーツ少年団の出身で、同スポ少時代の指導者である小泉泰治さん(中央)は「避難生活という悪条件の中、2人揃っての全国大会出場は町民の誇りであり、私にとってもこの上ない喜びです。今後も頑張ってください、記録と記憶に残るご活躍を期待します」と喜びのコメントを寄せました。

インターハイ出場と更なるレベルアップを目指し日々精進する想さん、15歳以下のナショナルメンバーにも選出され、昨年に続く全国中学校体育大会出場と上位入賞を狙う大地君、町民に元気を届ける活躍が大いに期待されます。



5月7日、全国大会出場を前に宮本町長から激励金を受取る根本大地君



田植えを行った組合員と協力者の皆さん

町内下郡山・原下地区の農家で構成される「ふるさと生産組合(渡邊康男組合長)」が5月15日、同地区の水田で米の実証栽培による田植えを行いました。

同組合では、農地の再生や収穫物の資源化、エネルギー転換などを目的とした第6次産業の創出を目指し、県と町の営農再開支援事業等を活用して、一昨年から試験栽培に取り組んできました。今年度は実証栽培として組合員と協力者14人が参加し、約30アールの水田4枚に「コシヒカリ」「天のつぶ」「こがねもち」の3品種を植え、今後は収穫した米を全袋検査し、安全が確認できればJAふたばを通しての出荷を目指します。

渡邊組合長は「昨年の試験栽培による全袋検査では、安全基準の100ベクレル/kg以下に対し約17ベクレル/kgほどで、今年も良い結果が期待できます。安全が確認されれば徐々に作付面積を広げ、富岡から米の安全・安心、そして元気を発信し、町の営農再開に向け慎重かつ積極果敢に挑戦していきます」と意気込みを語られました。

町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日:平成26年5月9日(晴れ後雨)~10日(晴れ)

| No. | 測定場所 | 測定日 | 地上1m | 地上10cm | No. | 測定場所 | 測定日 | 地上1m | 地上10cm |
|-----|------------|------|------|--------|-----|---------------|------|-------|--------|
| 1 | 下千里消防屯所 | 5/9 | 2.40 | 4.25 | 37 | 小浜住宅団地内公園前 | 5/10 | 3.13 | 5.76 |
| 2 | 上千里消防屯所 | 5/10 | 1.59 | 2.32 | 38 | 双葉環境センター | 5/10 | 1.88 | 2.50 |
| 3 | 杉内消防屯所 | 5/10 | 1.97 | 3.24 | 39 | NHK電波塔入口(浜街道) | 5/10 | 3.29 | 4.67 |
| 4 | 第二工業団地入口 | 5/10 | 4.15 | 5.47 | 40 | 深谷集会所 | 5/9 | 4.94 | 5.27 |
| 5 | 高津戸集会所 | 5/9 | 2.06 | 1.55 | 41 | 赤坂神社前 | 5/9 | 5.56 | 8.69 |
| 6 | 富岡第二中学校東側 | 5/9 | 1.85 | 2.20 | 42 | 太平洋フリーディング前 | 5/9 | 11.30 | 20.50 |
| 7 | 新夜ノ森集会所 | 5/9 | 5.75 | 7.90 | 43 | みよし前交差点 | 5/9 | 9.79 | 18.20 |
| 8 | 夜の森公園 | 5/9 | 2.68 | 5.72 | 44 | 富岡自動車学校前 | 5/9 | 5.55 | 11.30 |
| 9 | 松の前待避所 | 5/9 | 9.03 | 10.50 | 45 | リフレ富岡 | 5/9 | 3.51 | 4.86 |
| 10 | 小良ヶ浜集会所 | 5/9 | 5.61 | 6.09 | 46 | 東洋育成園前 | 5/10 | 3.73 | 5.65 |
| 11 | 町境(小良ヶ浜地区) | 5/9 | 7.69 | 13.00 | 47 | 富岡インター駐車場 | 5/10 | 3.16 | 4.23 |
| 12 | 深谷消防屯所 | 5/9 | 5.64 | 5.44 | 48 | 上手岡児童館 | 5/9 | 2.28 | 2.78 |
| 13 | 富岡町営野球場 | 5/10 | 0.88 | 0.68 | 49 | 下千里ライスセンター前 | 5/9 | 2.36 | 5.15 |
| 14 | 観陽亭前 | 5/10 | 1.02 | 2.15 | 50 | 館山荘前 | 5/9 | 3.16 | 4.58 |
| 15 | 富岡合同庁舎西側 | 5/10 | 2.50 | 3.15 | 51 | 夜の森つつみ公園 | 5/9 | 4.15 | 3.99 |
| 16 | 富岡養護学校 | 5/10 | 3.27 | 7.57 | 52 | 総合運動場東側駐車場 | 5/9 | 4.49 | 6.59 |
| 17 | 老人福祉センター | 5/9 | 6.30 | 10.20 | 53 | 華の樹前 | 5/9 | 4.97 | 6.37 |
| 18 | 夜ノ森駅 | 5/9 | 5.70 | 6.66 | 54 | 宝泉寺前 | 5/9 | 1.33 | 1.06 |
| 19 | 王塚集会所 | 5/9 | 1.48 | 1.08 | 55 | 国道6号第二原発入口前 | 5/10 | 1.15 | 1.70 |
| 20 | 諏訪神社前 | 5/9 | 2.81 | 3.24 | 56 | 猪狩スタンド前 | 5/10 | 0.77 | 1.17 |
| 21 | 上本町消防屯所 | 5/9 | 2.90 | 4.03 | 57 | なべや駐車場前 | 5/9 | 1.19 | 2.25 |
| 22 | 上本町集会所 | 5/9 | 2.46 | 2.85 | 58 | 大東銀行富岡支店前 | 5/9 | 1.65 | 2.02 |
| 23 | リベラルヒルズ入口 | 5/10 | 1.82 | 3.75 | 59 | 富岡漁港 | 5/10 | 0.47 | 0.49 |
| 24 | 赤木集会所 | 5/10 | 1.99 | 3.86 | 60 | サンライズイン富岡前 | 5/10 | 0.81 | 2.50 |
| 25 | 上郡山集会所 | 5/10 | 1.39 | 1.91 | 61 | 福島富岡簡易裁判所前 | 5/10 | 1.87 | 3.55 |
| 26 | 太田集会所 | 5/10 | 0.72 | 1.20 | 62 | ヨークベニマル富岡店前 | 5/10 | 1.56 | 3.30 |
| 27 | 原下消防屯所 | 5/9 | 1.32 | 1.70 | 63 | 今村病院前 | 5/9 | 3.49 | 6.54 |
| 28 | 富岡駅 | 5/10 | 0.77 | 1.78 | 64 | 福島銀行富岡支店前 | 5/9 | 1.73 | 3.64 |
| 29 | 清水消防屯所 | 5/10 | 1.65 | 2.45 | 65 | 龍台寺前 | 5/10 | 1.70 | 4.00 |
| 30 | 役場 | 5/9 | 1.07 | 1.25 | 66 | 清水団地前 | 5/10 | 1.85 | 3.18 |
| 31 | 浄化センター | 5/10 | 0.30 | 0.23 | 67 | 猪狩電気通信工業前 | 5/10 | 1.96 | 3.02 |
| 32 | 毛萱集会場 | 5/10 | 0.44 | 0.49 | 68 | 上郡消防屯所 | 5/10 | 1.98 | 3.03 |
| 33 | 富岡保育所 | 5/10 | 1.83 | 3.28 | 69 | 岩井戸鉱泉 | 5/10 | 1.18 | 1.57 |
| 34 | 中央児童館 | 5/9 | 1.37 | 2.26 | 70 | 富岡工業団地 | 5/10 | 1.52 | 1.56 |
| 35 | 栄町駐車場 | 5/10 | 1.17 | 0.69 | 71 | 成沢の滝入口 | 5/10 | 1.21 | 2.06 |
| 36 | 岩井戸消防屯所 | 5/10 | 1.52 | 1.92 | 72 | 沼名子橋 | 5/9 | 2.15 | 3.50 |

測定器:γ線用シンチレーションサーベイメーター(日立アロカメディカル社製)

東日本大震災関連写真データご提供のお願い

未曾有の災害をもたらした東日本大震災から3年3ヵ月。私たちの故郷は、世界にも類を見ない大惨事となった原子力発電所事故に行く手を阻まれながらも、少しずつ復興・再生への道を歩み始めました。

富岡町では、これまでの状況や人々の歩み、未だ復興の途上である町の姿を後世に伝え、震災の記憶を無くさないために、東日本大震災に関する資料を収集しております。つきましては、町民の皆さまが撮影した震災の記録(地震被害、津波、避難所での様子等を撮影した写真や動画)のご提供を賜りたく、下記のとおり広く募集いたします。



(1)応募要件

- ・スチールカメラ、デジタルカメラ、携帯電話、ビデオカメラ等で撮影し、ピントが合っている写真または映像。
- ・写真データの場合は、1枚あたりのサイズが1~3メガバイト程度、プリントの場合は写真専用の用紙にプリントアウトされたもので、枚数が多い場合や映像はCD-RやDVD等にコピーまたはダビングしたもので結構です(記録用メディアが必要な場合は、下記担当までご連絡いただければお送りいたします)。
- ・現在お住まいになられているご住所、氏名、富岡町の行政区名、電話番号、撮影場所、撮影日時、その時の様子も併せてお知らせください。

(2)応募方法

- ・データの場合は下記アドレスへメールで、CD-R、DVD、プリント等の場合は下記まで郵送にてお送りください。
- ・メールアドレス tom0200-0@tomioka-town.jp(富岡町役場企画課)
- ・郵送先住所 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
富岡町役場郡山事務所内 企画課広聴広報係 ☎0120-33-6466

(3)お送りいただく上での注意事項

- ・必ず応募者本人が撮影したもので、市販の雑誌や映像メディア、YouTubeなどの投稿サイトにアップされた写真、映像のコピー物は不可とします。
- ・ご提供いただいた写真や映像の使用権は富岡町に帰属し、町ホームページや広報紙などにも使用させていただきます。
- ・写真、映像は返却いたしません。
- ・被写体の肖像権侵害等の責任は負いかねます。写っている方の同意があるものとして使用させていただきます。



発行／富岡町
編集／富岡町役場企画課広聴広報係
〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5
TEL: 0120-33-6466 FAX: 024-961-3441

富岡町公式ホームページ <http://www.tomioka-town.jp/>
Eメールは富岡町役場公式ホームページの「Eメールはこちらから」をクリックし、各課あてにお送りください。
郡山駅前9番乗場発 新池下団地行き または 大槻行き 停留所 西の宮停留所

春の陽射しを浴び花見山ウォーキング NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ



4月9日と11日に行われた、NPO法人富岡町さくらスポーツクラブ主催による「花見山公園健康ウォーキング」。

好天に恵まれた両日、美しく咲き誇る花々の出迎えを受けた参加者の皆さんは、うららかな春の陽射しの中、「福島の桃源郷」を満喫していました。

豊作を祈り、心を込めた田植え 大玉村安達太良応急仮設住宅自治会



五月晴れの青空が広がった5月11日、大玉村安達太良応急仮設住宅自治会の皆さんによる田植えが行われました。

この日は、大玉村の渡辺政司さんからお借りしている水田約7アールに、昔ながらの手植えによってもち米の苗が植えられ、参加者の皆さんは、秋の豊作を祈りながら町民同士の交流と絆を深めました。

富岡高等学校 平成10年度卒業生同窓会のお知らせ

昭和54年4月～昭和55年3月生まれの富岡高等学校卒業生の同窓会を開催いたします。卒業時の担任はA組が井上先生、B組が門馬先生、C組が大沼先生です。

なお、震災後の転居先確認が非常に困難な状況となっております。ご家族やご近所、ご友人の皆様からの情報展開をよろしくお願いいたします。

1. 日時 平成26年6月28日(土)※夕方から開催予定
2. 場所 福島県郡山市内
3. 幹事 江尻 隆浩
☎ 090-6782-7130(Cメール、LINEも大歓迎です)
メールアドレス tomikou5455@gmail.com

※参加の可否に関わらずご連絡をお願いします。また、詳しい場所や会費等につきましては、幹事までお問い合わせください。

— 今月の表紙「富岡の名のもとに」 —

春季検閲式に臨んだ富岡町消防団。富岡町内の防火防犯、そして生命財産を守るために、今日もパトロールを続ける。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。